

# Bunka Naavi 文化ナビ

文化の薫るまちになあれ  
不二輸送機ホール  
(山陽小野田市文化会館)  
休館日：第1・第3火曜日

〒757-0002 山陽小野田市大字郡 1754 番地 ☎71-1000 FAX71-1002 E-mail:bunka-kaikan@city.sanyo-onoda.lg.jp

## ◎第15回山陽小野田市児童生徒書道展 1月30日(土)～2月5日(水)

東京2020オリンピック・パラリンピックをテーマに書かれた子どもたちの文字の力強さをご覧ください。

◆とき 10:00～20:00 ◆ところ おのだサンパーク2階大催事場 ◆入場料 無料

### COLUMN

#### かるたのルーツは？

毎年1月に競技かるたの日本一を決める名人位・クイーン位決定戦が開催されたり、お正月の家族団らんの1コマとしてかるた遊びをしたりすることから、「かるた」は冬の季語になっています。かるたがお正月の遊びとして定着したのは、江戸時代中期と言われています。このかるた遊びのルーツは、平安時代の「貝覆い」という遊びにさかのぼります。二枚貝の一片を持って、もう一片を探し当てるものです。後に、貝の内側に絵や和歌が描かれ、「貝合わせ」と呼ばれるようになりました。室町時代には、ポルトガルから伝わったカードゲームをまねて紙になりました。「かるた」はポルトガル語の「CARTA」の音を日本語にしたものです。江戸時代には、ほぼ現在の百人一首かるたの形になったと考えられます。明治時代に活躍した小説家、尾崎紅葉の『金色夜叉』や夏目漱石の『こころ』の中に、主人公がかるた会でかるたを取る様子が描かれています。明治37年(1904年)には、ジャーナリストの黒岩涙香が「東京かるた会」を創設し、2月11日に第1回かるた大会を開催しました。その時に統一されたルールが、現在の競技かるたの始まりとされています。

小野田高等学校小倉百人一首かるた部 顧問 青池 のぞみ

### REPORT

～文化の薫るまちづくり～

#### ◎第13回やまぐち少年少女合唱祭 in 山陽小野田

12月22日に、不二輸送機ホールにて第13回やまぐち少年少女合唱祭 in 山陽小野田を開催しました。県内8つの合唱団が出演し、定番のクリスマスソングから平成のヒットソングまで、幅広い名曲にのせて歌声を披露しました。



## さんようおのだ 演芸会

スマイルシティで大笑い!

2月16日(日) 不二輸送機ホール大ホールにて開催!  
開場 13:30 開演 14:00 (1時間45分、休憩含む)

テレビ番組「笑点」でおなじみの林家木久扇さんや、ヨネスケ唯一の弟子である桂米多朗さん、木久扇さんの弟子である林家木りんさんらによる演芸公演を開催! 新年が明るく楽しい年になるように、日本伝統芸能「落語」で大笑いしませんか。

出演 落語公演：林家木久扇、桂米多朗、林家木りん、マジック公演：魔女軍団ステファニー

- 入場料 一般3,000円、高校生以下1,000円、未就学児無料(当日同額、全席自由)
- 入場券販売所 不二輸送機ホール(文化会館)、中央図書館、厚狭図書館、市内各公民館、きらら交流館、おのだサンパーク、イトオ楽器店

